

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立鹿児島中央高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

「三綱領」「五条目」の精神のもと、SSH指定を契機に維新の風を！

年間活動計画

- 第1回 7月19日(木)
 - ・本年度重点項目等の説明
 - ・学校における業務改善
～これからの部活動、課外授業を考える～
- 第2回 (2月開催予定)

構成メンバー

中学校長、同窓会長、地域住民代表、母の部会長、元県警スクールサポーター、近隣コンビニ経営者、校長、教頭、事務長、4部主任

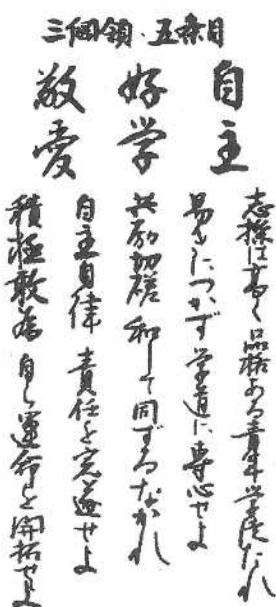


委員からの意見・要望

- ・あいさつが気持ちよい。
- ・SSH事業開始で、生徒の進路意識の高揚が期待されるが、夢の達成度や満足度も検証してほしい。
- ・理科を中心とした探究活動を推進する一方で、基礎知識・基礎学力の確実な定着を図る配慮や手立ても。
- ・新たな風を起こすために加治屋町の歴史等の地域特性を十分活用してほしい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標 Challenge Change Chance ~ 風は鹿児島中央から ~



- あたりまえのことをあたりまえにする生徒
 - …あいさつ、掃除、校歌
- 進取の気性をもって過去の踏襲から脱却
 - …探究基礎・探究ⅠⅡⅢ
 - …職朝カット週間の設定
- 校舎大規模改修に対応した教育活動の工夫
 - …団体訓練、校外体育祭
- 行動力を育む防災教育
 - …国内体験学習（福島）



鹿児島中央高等学校スーパー・サイエンス・ハイスクール概略図 造土館 PROJECT

協働的な活動の中で主導的な役割を担い、科学的な思考により課題を解決できる人材を育成



今後の課題

SSH事業を推進する中で新たな行事や業務も発生しており、教職員全員がカリキュラム・マネジメントに対する高い意識をもって、一層の業務改善、授業改善に取り組む。

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立山川高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

積極的な情報発信を行い、地域に信頼される開かれた山川高校であり続け、「チーム山高でつくる人権教育」の推進と規範意識が高く自ら進んで行動する力と志を持った生徒を育てる。

年間活動計画

- 第1回 平成30年 7月13日（金）
学校からの説明
- 第2回 平成30年10月19日（金）
中間評価と授業参観
- 第3回 平成31年 2月 4日（月）
成果報告と今後への提言

構成メンバー

- ①中学校長、②PTA会長
- ③同窓会長、④市教育委員
- ⑤地元団体職員（常務理事）
- ⑥市役所（室長）⑦4部主任
- ⑧農場長、⑨校長、教頭、事務長



委員からの意見・要望

- ・ 情報発信を積極的に行い、生徒が行きたいくなる学校づくりに取り組んでほしい。
- ・ 生徒が地域のボランティア活動やイベント活動に積極的に参加していきたいとしている。
- ・ 保護者アンケートから一部の保護者とは連携がうまく取れていないので、共通理解が出来るように努力してほしい。
- ・ 地域連携は、一部の職員だけでなく、全職員で取り組んでほしい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標 『職員一丸となって「元気」「感動」「温もり」のある山高づくり』

○服務規律の厳正確保

県教育委員会からの資料を職員研修で活用している。また、関係の新聞掲載記事等についてはプリントして職員朝礼等で配布し意識喚起を行っている。

本校は月はじめに「不祥事防止」や「交通遵守」のチェックリストで、意識付けを行っている。

○地域連携（イベントやボランティア活動への参加）

地域行事への積極的な参加（各種祭りや各種コンテスト、販売会等）

薬物乱用防止街頭キャンペーン、アロハ献血ボランティア、介護施設や老人ホームでの活動

○地域創生事業

県教育委員会の平成30年度「地域創生人材育成プロジェクト」実施校である。

「地域の特色」「地域の課題」「育成する人材像」等の課題を念頭に

テーマ：『指宿の特産品である豆に関するスペシャリストの育成』に取り組んでいる。

○特別支援教育に関する職員の意識改革

切れ目ない支援体制構築に向けた特別支援教育充実事業の研究指定校である。

（昨年度は特別支援学校との連携で特別支援教育に関する研究協力校として取り組んだ）

○充実した職員研修

緊急時に備え、AEDを含めた心肺蘇生法についての研修会「普通救命講習会」を毎年全職員が受講している。

今後の課題

- 不祥事根絶を目指して研修の深化を図り、地域に信頼される学校づくり
- 全職員が特別支援教育に関して理解し、いつでも対応できるような意識付け
- 「生徒募集の定員確保」と関連した取組
『生徒が行きたい学校、保護者が行かせたい学校、卒業して良かったと思われる学校』をめざす

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立川辺高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

知・徳・体の調和のとれた人材を育成し、地域に「開かれ、信頼される学校」づくりに努める。

年間活動計画

- 第1回 7月24日
学校概要及び経営方針等説明、意見交換
- 第2回 11月19日
校内活動参観、進捗状況報告
- 第3回 2月開催予定

構成メンバー

中学校長、学校医、同窓会長、PTA会長、元PTA役員、地元商店街、地元交番、本校職員（校長、教頭、事務長、各部主任）



委員からの意見・要望

- ・学校の情報発信を積極的にして、現在の川辺高校の良さを中心により具体的な状況を知ってもらう努力をしてもらいたい。
- ・生徒は礼儀正しいが積極性に欠ける。自己肯定感が低い。キャッチフレーズの「君が変える。君で変わる」のとおり、生徒が自信をもてる支援をお願いしたい。
- ・地元中学校との連携を密にしてもらいたい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標

「不易流行」 情報の共有化と報・連・相・確を徹底し、協働体制で課題解決に取り組みます。

- 個に応じた進路指導の充実と新しい入試制度や学習指導要領への早期対応
　　校外研修会等への積極的参加、基礎力講座、個別指導の充実
- 生徒による積極的な地域貢献
　　ボランティア活動（かわなべ二日市等の地域行事、家庭クラブ）
- 生徒アンケートによる環境改善
　　学校行事の見直し、自転車通学制限の緩和、
- 全職員による服務規律の確認
　　標語作成と職員朝礼時における共有化、通勤路の制限速度マップ
- 開かれた学校づくり
　　中学生の学習会、出前授業
　　南薩地域の小・中学校との合同演奏会
- 情報発信、広報活動の充実
　　進学説明会の開催（学区内4か所）、広報紙「陣が丘」の配布、ブログ
　　中高連絡会（6月、11月）の実施
- PTA・同窓会による学校支援
　　中学生一日体験入学・進学説明会でPTA役員が保護者向けに説明

今後の課題

- 地域により信頼され、志願者が増えるような取組と、広報活動
- 授業改善による確かな学力向上や進路実現

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立出水高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

創立百周年に向けて、地域に信頼され、期待される学校

年間活動計画

- 第1回 7月 6日（金）
学校経営方針・概況等説明
第2回 10月 24日（水）
進捗状況と経過報告、意見交換
第3回 2月 21日（木）
成果報告、全職員への提言



構成メンバー

同窓会長、市議会議員、PTA 会長、
PTA 副会長、中学校長、小学校長
校長、教頭、事務長、各主任

委員からの意見・要望

- 出水高校生は、自分から挨拶してくれて気持ちがいい。文化祭や体育祭でもいきいきしてて好感がもてる。
- 生きる力の形成、他者理解の推進に力を入れていると理解している。今後も継続して取り組んでほしい。
- 教職員の心身の健康、メンタルヘルスの取組の改善が必要である。そのことが、健全な子供達の育成にもつながる。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標

教育公務員としての情熱を持ち、自己研鑽に努め、生徒とともに成長する

1 服務規律の厳正確保

- 公文や新聞スクラップ記事の活用により、服務規律の確保について自戒の機会を持つ。
- 毎月の服務規律セルフチェックの実施
- 服務規律に関する全員参加型の職員研修
- 個人ファイルを活用し、服務規律確保に関する資料の保管



2 職員の指導力向上

- A L研究員による研修と公開授業の実施
- SNSについての指導についての研修
- 不登校傾向にある生徒への対処についての研修



3 PTA・小中学校・地域との連携

- ボランティア活動・地域貢献活動への積極的参加
- 文化祭・体育祭・強走歩大会などの学校行事における協力・連携の取組み
- 中学校での出前授業、学校説明会の実施

4 情報発信の充実

- 出水・阿久根・長島地区の公民館等での学校説明会・進学相談会の実施
- HP・ブログの更新や、学校行事に係るポスター掲示、出水高便りの配布などの広報活動

今後の課題

- 授業改善と教育相談のスキルを向上させ、生徒一人ひとりの進路実現を図る指導体制
- 地域に信頼され、中学生に進学したいと希望される魅力的な学校づくり

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立霧島高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

活力ある生徒集団、一人一人の生徒を大切にする教師集団、開かれた学校、信頼される学校、地域にとってオンリーワンの学校

年間活動計画

- 第1回 6月21日(木)
学校経営方針、服務規律の目標・年間計画
- 第2回 11月7日(木)
経過報告と協議
- 第3回 2月21日(木)
成果と課題の確認、次年度への提言

構成メンバー

- ①中学校長 ②PTA会長 ③地域代表 ④銀行支店長 ⑤郵便局長 ⑥学校管理職・4部主任



委員からの意見・要望

- ・商品開発、ボランティア活動など、生徒が活き活きしている。学校も頑張っている。続けてほしい。もっと宣伝してほしい。
- ・高齢者宅での電気の交換など地域に根ざしたボランティアをしてはどうか。
- ・就職・進学後に霧高を卒業してよかったと思われるような学校にしてほしい。

信頼される学校づくりを目指した取組

<本校職員の目標>

- ①生徒の良さを伸ばす教職員 ②職責感と使命感を自覚する教職員 ③指導力向上を目指す教職員
- ④生徒・保護者・地域に信頼される教職員 ⑤危機管理意識を持った教職員



牧園保育園児ミニコンサート



霧島温泉駅での花植と駅舎清掃



鹿児島空港での「空の日フェス」お手伝い



大学教授による服務関連の職員研修

1 服務規律の厳守と働きやすい職場づくり

- ①全職員からの標語募集と職朝プリントへの標語の掲載
- ②服務規律に関する個人ファイルによる資料の保管と活用
- ③コンプライアンスに関する書籍（4冊）の購入と活用
- ④参加型の職員研修（8月・12月）8月は交通法規と体罰感想文の提出と管理職によるコメント記入
- ⑤「服務規律の目標」の各職員室への掲示
- ⑥定期退校日（年14回）、リフレッシュウィーク、学校閉庁日の設定



2 地域貢献活動

- ①霧島温泉駅での花植、駅舎の清掃
- ②保育園児へのミニコンサート、園児・小学生対象の読み聞かせ
- ③鹿児島空港や横川駅、みやまコンセールでのイベントの運営ボランティア

服務規律の目標 (掲示用)

3 地域と連携した教育活動

- ①警察OBとの連携②地元の「天空の森」、「とらや」、「もんぺおばさん」等との連携

今後の課題

- 不祥事を絶対に起こさない、起こさせない職員の意識向上とポケット版の活用
- 校務の簡素化・効率化と地域貢献活動や生徒募集・広報活動とのバランス

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立串良商業高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

特色ある教育活動を実践し、地域に開かれた信頼される学校

年間活動計画

- 第1回 6月29日（金）
本年度の取組等の説明、意見交換
- 第2回 11月15日（木）
進捗状況及び成果報告、意見交換
- 第3回 2月15日（金）予定
成果報告、次年度への提言



委員からの意見・要望

- 原付バイクでの通学に抵抗がある保護者もいる。公共交通機関での学校へのアクセスがもつと良くならないのか。
- 地域へのPRのために回覧板を活用してみたらどうか。
- 生徒募集確保のために学習活動をもっと積極的に発信してほしい。
- 交通事故が心配である。細い路地などは、見通しが悪いので安全運転に気を付け、事故がないよう指導してほしい。

構成メンバー

中学校長、同窓会代表、保護者代表、地域有識者、校長、教頭、事務長、4部主任

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標：学校活性化及び地域の期待に応える教育活動の推進並びに生徒とともに無事故・無違反

1 服務規律の厳正確保

- 服務規律に関する毎月1回のセルフチェック（職員朝礼時）の実施
- ノーリングデーの取組（月2回）、業務改善の意識化
- 年度当初不祥事防止のために標語の募集、毎朝の職員朝礼プリントに掲載
- 職員朝礼、職員会議時に新聞記事等を活用しての意識啓発
- 懇親会時の交通手段調べ
- 交通事故の被害者遺族による講話
- ボトムアップ型（職員による）研修会、ハンドブックの利用
- 風通しの良い職場環境づくり



2 地域貢献・連携

- くしらスマイルフェスタ（小中学生のキャリア教育）企画・実施
串商チャレンジ（スポーツフェスタ）企画・実施
- 全校生徒・職員による地域清掃ボランティア活動
- 小中高連携（吹奏楽部による演奏会、商品開発、チャレンジ検定、中高合同交通安全教室・芸術鑑賞会）
- 地域イベントへの参加



3 情報発信

- 学校だよりの配布（学校ホームページ、回覧板）
- 中学生・保護者対象の進学説明会（11月）の実施
- 卒業生による中学校訪問・説明会
- 新入生レポート



今後の課題

- 生徒個々の進路実現を図るために、指導法改善と教育活動の質の充実に努める。
- 募集定員確保に向けた魅力ある学校づくりに努める。

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島立南大隅高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

郷土に根ざした特色と品格を備え、地域に開かれ信頼される学校

年間活動計画

- 第1回 6月29日（金）
本年度の取組等の説明
- 第2回 11月29日（木）
授業見学、意見交換
- 第3回 2月予定
成果報告、次年度への提言



構成メンバー

- 商工会代表2
- 同窓会長
- PTA副会長（女性代表）
- 地域交番
- 学校職員8



委員からの意見・要望

- 商業科なので面接指導を徹底し、接遇教育の充実を図ってほしい。
- 地域の高齢化で生徒減少が叫ばれるが、高校生の力で地域に活力を与えてほしい。
- 高校生による不良行為は発生していないが、交通事故が多いので気をつけてほしい。
- 自転車の並列運転が多い。
- 自転車競技部が、一般道路でスピードがでているが、道路は練習場ではない。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標

平成30年度

南大隅 地域での通称 「みなお」

学校スローガン

認め合い 和む心の 思いやり
(み) (な) (お)



働きやすい環境づくり

- ”チームみなお”
- 学校スローガンの設定
- ☆職員研修による相互理解
- ☆リフレッシュワークの導入
- ☆部活動の休養日
- ☆衛生委員会の充実
- ☆計画休暇の積極取得

- ” 服務の日”
(毎月2,9,6の付く日)
- 新聞記事等による情報提供
- ☆体罰の禁止
- ☆飲酒運転根絶
- ☆交通事故防止
- ☆個人情報保護

モラルの向上

より開かれた学校づくり

- ” 地域との連携”
- ボランティア活動の充実
- ☆地域清掃ボランティア
- ☆根占・錦江クリソップ作戦
- ☆保育園・高齢者宅訪問
- ☆小学生への読み聞かせ
- ☆祭りやイベントへの参加

今後の課題

- 地域の方々に学校の取組を理解していただけるよう工夫が必要である。
- 服務規律に対する職員の更なる意識向上を図る。

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立種子島中央高等学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

子どもや孫を入学・卒業させたいと思う、地域住民に信頼され、地域の誇りとなる学校

年間活動計画

第1回 6月 1日（金）

- ・服務規律指導状況、不祥事防止対策案

第2回 11月 19日（月）

- ・職員研修参観・意見交換

第3回 2月 22日（金）

- ・本年度のまとめ、次年度に向けて



構成メンバー

町教育委員、中学校長、
前PTA会長、保護者代表、
校長、教頭、事務長、4部主任、
学年主任等



委員からの意見・要望

- ・学校経営方針と学校評価がしっかりと連動している。
- ・生徒を引き込む授業が展開されているが、更に授業改善を進めてもらいたい。
- ・学習環境の整備と整理・整顿の徹底をさせてほしい。
- ・生徒が地域行事に積極的に参加している。
- ・心の教育を、更にしっかりと行ってほしい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標 全職員の協働による「目指す学校像」の実現と不祥事発生ゼロ

※ 本校の「目指す学校像」は

- ア 確かな学力の定着に努め、多様な進路希望の実現を図る学校
- イ 社会性や協調性を育成することをめざす学校
- ウ 地域の特性を生かして、豊かな人間性を育む学校
- エ 地域に信頼され、地域の誇りとなる学校



【教職員】・ 不祥事防止のために、新聞記事等の活用や、標語を作成。

- ・職員朝礼プリントに、毎日、不祥事防止や交通安全注意の標語を掲載。
- ・月末の職員朝礼で「事故防止及び服務規律の厳正確保のための10項目点検」を配布し、チェック後は個人ファイルに綴じ、繰り返し自己点検を実施。
- ・「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」で「学校見学ツアー」や「授業参観」、「高校生外交官プログラム報告及び総学の中間研究発表会」を実施。
- ・外部委員による、服務規律に関する職員研修の参観を実施。
- ・服務規律に係る職員主体による研修会を、国語・地歴公民→数学・理科→…のように担当教科を決め、企画、実施を行い、当事者意識を高める工夫をした。研修の様子はブログで公開。
- ・相互授業参観月間の設定、指導力向上のための研究授業を実施。

【生徒】・ 教育活動の地域への還元

- (高校生ホテル、安納芋の商品開発など)
- ・教育活動に関する広報・発信の増加
(ポスター、ブログ、広報紙など)
- ・地域でのボランティア活動推進



今後の課題

- より効果的な服務規律に関する研修内容の工夫
- 生徒・職員が常に交通法令遵守の意識を持ち、交通事故・違反0をめざす取組
- 教職員が常に授業改善の視点を持ち、授業力の向上を図る取組

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島県立徳之島高等学校」の実践紹介

～徳高プライド・徳高ブランド～

年間活動計画

平成30年11月16日（金）
本年度経過報告・意見交換

平成31年2月12日（火）予定
本年度の振り返りと来年度の見通し

構成メンバー

町教育委員・同窓会会长・中学校校長
町役場職員・元PTA会長
校長・教頭・事務長・4部主任
学科主任

全職員を対象



委員からの意見・要望

島内への学校の情報発信を工夫して高めてほしい。

保護者の負担軽減に対する取組を引き続き進めてほしい。

行政における生徒支援の取組も積極的に利用していただきたい。

現場の職員がストレスを溜めないように吐き出せる環境作りをしっかりと作っていただきたい。

同僚間のコミュニケーションを密に取るような工夫が必要。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標

生徒の自己肯定感を高め、チーム学校として、前例踏襲主義に陥らず、改革主義を意識し実践する。

○ 本校の学校活性化に向けた課題と解決策の検討及び実践

<計画>

- ① 自学自習の拠点作りとネット配信による動画
教材を利用した学習支援環境の構築
- ② 生徒の進路に対する視野を広げる方策

<実施内容>

- ① 徳之島町GCF支援事業による学習支援環境の整備
- ② 探求活動の充実による主体的問題意識の醸成
- ③ 教育的効果を意図した校史資料室の整備と地域・同窓生との関係強化
- ④ 各大会等への積極的なエントリー(教科、部活動ボランティア)



○ 不祥事防止対策についての協議と教職員のモラル向上の実践

- ① 学校のチーム力を高めるための事例を用いたグループ討議とワークシートの作成
- ② 外部講師による情報モラル講演会の実施
(生徒、職員)
- ③ 警察署による交通安全研修の実施
(生徒、職員)
- ④ 大学教授によるいじめ問題等相談に関する職員研修の実施



今後の課題

- 生徒の学習習慣の確立と進路意識や学習に対する意欲の高揚
- 生徒に対する支援体制の環境整備
- 職員が働きやすい業務改善の推進

平成30年度「信頼される学校づくりのための委員会」モデル校

「鹿児島立指宿養護学校」の実践紹介

目指す信頼される学校像

安心安全に学べ、児童生徒を伸ばし、保護者・地域に期待される学校

年間活動計画

- 第1回 平成30年7月4日
概要、取組方針説明
- 第2回 平成30年12月10日
中間報告、提言・提案
- 第3回 平成31年2月上旬予定
最終報告、次年度への提言

構成メンバー

指宿市教育委員、南九州市福祉課長、
発達支援センター所長、
指宿市立小学校長、PTA会長、
校長、教頭、教務主任、
各学部主事[小・中・高等部]



委員からの意見・要望

- 多様な障害特性に応じた専門的な指導力を地域における特別支援教育の中心的な役割を生かして連携に取り組んでほしい。
- 学校の立地条件的に、なかなかわかりにくい場所にあるからこそ、地域へのアピールが必要。
- 作品や製品を通した地域へのアピールや貢献も充実させてほしい。

信頼される学校づくりを目指した取組

本校職員の目標 児童生徒の夢や希望を育み、使命感を持って自己研鑽に励み保護者や地域に信頼される教師を目指す。

1 より開かれた学校づくり



【地域貢献】いぶたま号おもてなし学習（高等部）指宿市観光協会との連携

【ボランティア活動】老人ホームでの清掃活動

【校外学習】地域に積極的に出掛け、社会と繋がる学習の設定

2 作品・製品を通じた地域や関係機関との繋がり



【宿商マーケット】作業学習製品の販売、お客様との触れあい。

【いぶようマーケット】

製品販売、福祉施設製品販売等地域住民との交流、市広報誌への掲載

3 特別支援教育指導力を通じた地域連携



【中高情報連絡会】校区の高等学校と中学校をつなぐ会企画（写真上部2枚目）

【夏期セミナー】校区の幼稚園・保育園から高等学校療育施設を対象とした学習会の運営

【学習会】放課後、地域の幼稚園、小中学校の学習希望者都事例研究をとおした学習会

【職員研修】発達障害の事例を通じた専門家招聘研修

4 信頼される教師

- ・服務規律の厳正確保指導（4月）
- ・指宿警察署による速度超過と要因[全員研修]（7月）
- ・新聞記事の掲示等情報提供
- ・月ごとの服務規律スローガン掲示

成果：取組を通じて、地域との繋がりや関係機関との連携を深めつつ、その繋がりを通して、教員としての使命感を持ち、貢献したいという意識が高まってきた。

今後の課題

- 成果を実感できる職員の数を増やすような取組の工夫が必要である。
- 業務量の増加に繋がらないように実施時期や規模の検討などが課題である。